

# しいのき

発行年月日 2025年10月発行

編集・発行  山崎記念  
中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4  
☎ 03(3319)9221 FAX 03(3319)9119



歴史民俗資料館正面の外観写真（2025年5月撮影）

## 資料館の日々に加わって―「家族の像」とともに歩む資料館のこれから

歴史民俗資料館 館長 外園 佳子

令和7年度より、中野区歴史民俗資料館の館長を拝命いたしました。地域の歴史を伝えるこの資料館の責任を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

資料館は、区民の皆さまにとって、過去と現在をつなぐ「記憶の場」であり、未来への「語り」の場でもあります。私にとっても、これからこの場所を通じて地域の歴史や文化に触れ、学びを深めていけることを楽しみにしています。

さて、昨年度の区役所移転に伴い、「家族の像」(写真右下)が当館の入口に移設されました。この像は、中野区江原町に在住していた彫刻家・山本<sup>わかひ</sup>稚彦(1901-1993)氏から寄贈されたブロンズ作品で、長年にわたり中野区役所前庭に設置されてきたものです。山本氏は、区内に拠点を置き活動していた数少ない芸術家の一人であり、日本美術家連盟の理事長や日展の評議員・参与を務めました。

「家族の像」は、父母と子どもが寄り添う姿をかたどった作品であり、都市化が進む中野のまちにおいて、「家族」という普遍的なテーマを象徴する存在として、長年にわたり区民に親しまれてきました。現在は、資料館の「顔」として、来館者に安心感と親しみを与えてくれる存在となっています。

この像が迎える資料館の入口は、地域の歴史や文化に触れる第一歩として、訪れる方々に静かな感動と気づきをもたらしてくれることでしょう。これからも、地域に根ざした資料館として、皆さまに親しまれる場を目指してまいります。

# 文化財よもやま話

じょうがんじ ぼうくうこう  
—成願寺の旧防空壕—

# 大地に眠る歴史

近現代の遺構の調査②

2025年は太平洋戦争終結から80年にあたります。

6月17日(火)～8月16日(土)まで開催した企画展「中野区の戦後80年」では「戦後」が続くためにも戦争体験を振り返ることが重要と考え、終戦直前から現在までをたどりました。

防空壕は、戦時中に空襲から退避するために地面に穴を掘って作った待避所です。公共用と家庭用の壕は初期防火のための待機場所として、防空待避所・待避壕とよばれ、長時間の空襲を避けるための横穴式などの大規模な壕は防空壕とよばれました。公共用の最大収容人数は20人程度とし、小規模のものを分散させ、直撃弾をうけた際の被害が大きくなるようにしました。各戸に作られたものは広さ2～3畳ほど、深さは中で座れる程度の0.8～1mぐらいのものが多かったようです。

中野区では、幼稚園や学校、各家庭の敷地に造られた防空壕に入る人々の姿が写真で残されていますが、戦後は防空壕が埋められてしまうことも多く、戦時中の遺構としてみる事ができるものは少なくなっています。

中野坂上駅から南へ6分ほどのところにある成願寺には、昭和19年(1944)に造られた防空壕があります。崖に掘られた横穴式の防空壕で、全長は約40m、爆風が直接入らないよう内部は屈折しています。平成6年(1994)に地面に砂利を敷き、内部壁面を鉄板で覆い、鉄骨で補強しましたが、鉄骨の隙間から当時の土壁が見えます。内部には5～6畳ほどの小部屋があり、そこに本尊と過去帳を避難させていました。空襲時には近隣住民や檀家の人々が避難してきていたそうです。現在は通路に明かりがありますが、当時はなかったはずで、人々が暗い防空壕で身を寄せ合っていたであろう姿が想像されます。

見学希望の際は、成願寺へ事前予約をお願いします。  
(北河)

令和5年(2023)発行の『しいのき』73号で、近世や近現代の埋蔵文化財は調査対象とする基準が曖昧というお話をしました。このことについて、文化庁は令和6年(2024)8月に『近世・近代の埋蔵文化財保護について(報告)』を公開し、基準についての考え方などを示しました。

近現代の場合、地上に文化財建造物が残っていることも多く、埋蔵文化財もそこから価値判断がされる傾向があります。しかし、前号で紹介した待避壕の跡のように、地上に建造物を伴わないものが発見されることも多々あります。そのため、地上の建造物によらない、独立した判断基準を作成することが求められています。

なお、文化財建造物の周囲で発掘調査を行うと、建築過程などの新情報が明らかになり、建造物の文化的価値を高めることにつながります。旧豊多摩監獄表門の曳家工事に先立ち、令和5年度に表門の周囲で、詳細な発掘調査を実施しました(新井三丁目遺跡Ⅲ)。その結果、73号で紹介した豊多摩監獄期のレンガ塀の基礎と、表門の基礎の間では、木製の型枠の一部が見つかりました。このことから、下の写真のように、型枠を用いて先に表門の基礎の一部を凹字形に造り、そこに合わせてレンガ塀の基礎を造った後、表門本体やレンガ塀を建造したことがわかりました。他にも、使用されていたレンガのことなど、新発見がさまざまありました。

こうした最新の調査成果の発表などを行い、埋蔵文化財への理解と文化財保護の考えの普及を目的として毎年開催される「東京都遺跡調査・研究発表会」が、今年度は中野区で開催されます。当日は、新井三丁目遺跡Ⅲのほか、近年都内で調査が行われた遺跡に関する発表や、近代の埋蔵文化財に関する講演が行われる予定です。開催日などの詳細は、後日ホームページ等で発表されますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

(比留間)



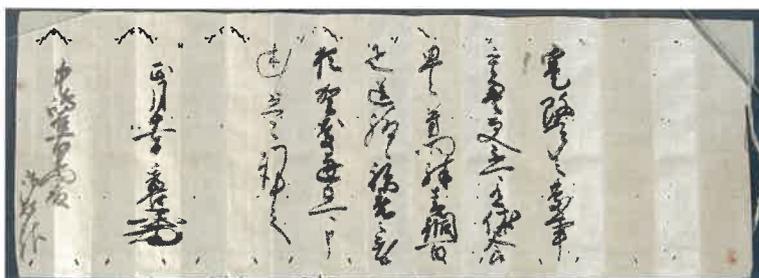
成願寺の旧防空壕入り口



# 古文書つづり

33年目で判明! 秀吉からの礼状でした

平成5年(1993)、加賀前田家に仕えた大河原家の伝来文書107点が、当館に寄贈されました。その後、さらに追加で寄贈があり、令和6年(2024)夏の館蔵品展「新収蔵展—中野に伝わった資料—」で、その一部を紹介しました。写真は、2点ある「羽柴秀吉書状」のうちの1点です。



実はこの書状、当館発行の「しいのき」第8号(1992年刊)では、「豊臣秀吉の年賀状」として紹介されていました。当時は、宛名の「中嶋吉右衛門」という人物や、この書状が出された背景がよく分からなかったため、「正月十七日」の日付により、年賀状と推定されたようです。

この度、改めて調べてみたところ、この書状は、備前・美作の国人衆である中嶋一族が秀吉に連絡を取ろうとして、銅銭100疋(=10貫文)を献上したことに対し、秀吉が送った返礼状と分かりました。「中嶋吉右衛門」の下に小さく「尉」の字があるので、「中嶋吉右衛門尉」と読むのが正しく、その名が秀吉配下の前野長泰(亀山家文書、倉敷市所蔵)にあったのです。前後は省略しますが、「正月十七日」もほぼ、天正6年(1578)の正月17日と考えて良さそうです。ただし、この時期の秀吉はまだ羽柴姓ですから、「豊臣秀吉書状」とは呼べないことになります。

最初の紹介から33年を経て、新しい発見が。古文書の面白さは、こんな所にあるのです。

(本田)

## 中野往来

上高田の石仏巡り

上高田には人々の願いや祈りが込められた石仏がいくつも残されています。

旧上高田村は耕地の大半が畑で、<sup>おかひぼ</sup>陸稲や大根・ナスなどの野菜が栽培されていました。畑仕事や売荷の運搬のために馬や牛が飼われていたことから、馬頭観音が村のあちこちに見られたといえます。馬頭観音は、頭上に馬頭をいただき、怒りの形相をした観音菩薩で、馬の守り神として信仰されていました。

上高田3-13-12にある文政7年(1824)の馬頭観音(舟型座像)は、飼っていた馬の供養のために建てられたもので、おできにもよく効くということで、祈願してご利益のあった人が絵馬を奉納したといわれます。

上高田5-38-1には享保4年(1719)の靈験あらたかな庚申塔があります。病人が出たときに(特に耳・鼻・のどの病気)祈願して、病が治ると底を抜いた柄杓(ひしやく)に大願成就と自分の氏名を書いて供えたということです。庚申塔は、中国から伝わった教えと日本の習俗が合わさった庚申信仰があり、庚申講を組織した時などに建てられました。人の身体の中には三戸(さんこ)という虫がいて十千十二支で60日に一度回ってくる庚申の日の夜、人が眠っているときに体から抜け出しその人の悪事を天帝に告げ、その悪事によって寿命が縮められると信じられており、三戸の虫を体から出さないようにするために、仲間が集まって庚申の日に眠らないで夜を明かすという風習がありました。

上高田1-49-17には、「馬頭観世音」と文字の刻まれた明治34年(1901)の馬頭観音と天保3年(1832)の角柱型観音があり、台石には「右やくし道 左中野打越」と刻まれ、新井薬師梅照院への道しるべも兼ねています。

上高田本通りは、江戸時代からある道で、江戸から新井薬師に参詣する人々が行き来した通りです。その辻に建てられた道しるべや天明3年(1783)の聖観音(しょうくわんのん)などは、旧上高田村の人々の菩提寺として江戸時代初めに創建されたという東光寺に今も残されています。

(榎木)



庚申塔(上高田5-38-1)



馬頭観音(上高田3-13-12)

# 事業報告(2024年4月~2025年3月)

## 各種事業経過

事業名	内容
企画展	「あつまれ動物！」(6/18~8/11) / 「その名は『中野サンプラザ』」(10/1~12/22) / 「おひなさま展」(R7. 2/11~3/15)
館蔵品展	「『食べる』の道具」(4/23~6/15) / 「新収蔵展—中野に伝わった資料—」(8/13~9/29) / 「上高田の農家の暮らし」(12/24~R7. 2/9)
コーナー展	「旧豊多摩監獄表門関連展示 2024」(5/28~7/14)
ミニ企画	「端午の節句」(4/27~5/5) / 「七夕」(6/22~7/7) / 「夏休み学習コーナー展『戦時中の暮らし』」(7/23~8/31) / 「江古田獅子舞」(9/12~10/8) / 「酉の市」(11/1~12/1) / 「文化財防火デー」(R7. 1/14~2/2) / 「グラフィックでふりかえるれきみん 2024」(R7. 3/18~4/19) ※その他年間を通して様々な年中行事を紹介しました。
夏休み講座	れきみんサマーフェスタ 2024 (7/23~8/31) 「勾玉作り」「ばたばた鳥」「カラフル紙バンド鈴」「段ボールシュートゲーム」 「型染めDE マイバッグ①」「型染めDE マイバッグ②」「ペットボトル砂時計」 「むかしの暮らし体験」
講座	古文書講座(講師:笠原 綾氏、大友 一雄氏・9/7~10/12) 哲学堂講座「一から学ぶ哲学堂」(講師:佐藤 厚氏・9/21・9/22) 伝統文化体験講座「江古田獅子舞」(講師:江古田獅子舞保存会・9/8)
公開事業	「『天狗像・幽霊像』の公開」(3/19~4/14) / 春季「山崎家庭園・茶室の公開」(4/23~5/5) / 秋季「山崎家庭園・茶室の公開」(10/1~11/3)
その他	小学校総合学習見学 18校

## 埋蔵文化財対応

[ ]内は費用負担者

若宮 1丁目4番民有地立会 (4/2) 江原町 2丁目24番民有地試掘 (4/19) [国庫補助] 野方 2丁目63番民有地試掘 (4/23・25) [原因者] 若宮 1丁目13番民有地立会 (5/7) 新井 3丁目37番旧豊多摩監獄表門内部確認調査 (5/7~5/24) 本町 6丁目16番民有地試掘 (5/16・17) [原因者] 江古田 2丁目17番民有地立会 (5/21) 新井 3丁目37番平和の森小学校用地試掘 (5/21~5/24) 新井 4丁目26番民有地試掘 (5/22) [原因者] 江古田 1丁目25番ガス工事立会 (5/23) 沼袋 1丁目30番ガス工事立会 (5/24~6/10) 沼袋 4丁目1番ガス工事立会 (5/30・6/3) 若宮 1丁目15番民有地立会 (6/3) 弥生町 1丁目24番民有地立会 (6/17) 本町 3丁目15番民有地試掘 (6/24) [原因者] 南台 5丁目30番民有地立会 (6/27) 若宮 2丁目50番民有地試掘 (7/8) [原因者] 江古田 1丁目34番民有地試掘 (7/10) [国庫補助] 江原町 2丁目21番民有地試掘 (7/10) [原因者] 鷺宮 4丁目16番民有地立会 (7/22) 弥生町 5丁目2番民有地試掘 (7/23・24) [原因者] 若宮 3丁目53番民有地試掘 (7/31) [原因者]	江原町 1丁目47番民有地試掘 (8/15) [原因者] 鷺宮 4丁目16番民有地立会 (8/27) 中野 6丁目16番民有地試掘 (9/10) [原因者] 東中野 2丁目13番民有地試掘 (9/24) [原因者] 弥生町 4丁目29番民有地試掘 (10/2~10/4) [原因者] 東中野 2丁目13番民有地立会 (10/17) 本町 2丁目18番民有地試掘 (10/23) [国庫補助] 本町 2丁目18番民有地試掘 (10/23) [原因者] 江古田 1丁目25番民有地立会 (10/24) 沼袋 2丁目28番民有地試掘 (10/24) [原因者] 南台 1丁目15番民有地立会 (10/30~2025/1/17) 本町 2丁目18番民有地立会 (11/7・11) 鷺宮 4丁目17番民有地試掘 (11/18) [国庫補助] 弥生町 4丁目29番民有地地調査 (11/18~2025/2/13) [原因者] 弥生町 4丁目29番民有地立会 (11/28) 南台 2丁目8番民有地立会 (12/9) 野方 3丁目25番民有地試掘 (12/10) [原因者] 白鷺 3丁目5番民有地立会 (12/16) 本町 6丁目16番民有地試掘 (12/17) [国庫補助] 松が丘 1丁目34番哲学堂公園常識門確認調査 (12/19~12/27) 中野 1丁目33番民有地試掘 (12/23・24) [原因者]	江原町 2丁目19番民有地立会 (1/6) 江古田 4丁目9番民有地立会 (1/10) 弥生町 4丁目15番民有地試掘 (1/14) [原因者] 江原町 2丁目20番民有地試掘 (1/23) [原因者] 南台 5丁目30番民有地試掘 (1/27) [国庫補助] 若宮 3丁目51番民有地試掘 (1/27・28) [原因者] 野方 3丁目7番ガス工事立会 (1/27~29・3/13・14) 若宮 1丁目4番旧洗心寮跡地確認調査 (2/3~2/14) 江原町 2丁目22番民有地立会 (2/3・17) 本町 5丁目23番民有地試掘 (2/18) [原因者] 南台 3丁目6番電気工事立会 (2/19) 江古田 4丁目14番ガス工事立会 (2/20) 江古田 2丁目12番民有地試掘 (2/25) [原因者] 若宮 2丁目49番民有地立会 (3/13) 白鷺 2丁目46番民有地立会 (3/17・18) 弥生町 5丁目11番民有地試掘 (3/26・27) [原因者] 本町 2丁目19番民有地立会 (3/28)
---	---	---

## 寄贈資料一覧

敬称略: 受入順

資料名	氏名・団体名
鳶口	高橋 みつ江
賞状・種痘済証・古写真・国民学校資料	檜本 晋也
伊藤菊三郎作 防火用水槽・石像	岩本 深波
段飾り雛人形 (昭和17年)	久保田 幸子
整地碑・開都五百年記念碑	株式会社ライトアップ
慈眼寺の写真 (昭和20年代半ば)	木村 修廣
木遣り音源 (CD・カセット)	関根 勝彦
ササラ・笛置き台	深野 直美
細井家けやきの写真	細井 俊正
戦争関係資料・大和小学校航空写真	中村 芳子

資料名	氏名・団体名
木製玩具・ブリキ玩具・万華鏡	奥田 詔紀
櫛・かんざし等装身具	中山 彬
掛け袱紗・櫛・かんざし・筭	内田 節子
東京府豊多摩郡杉並村全図・甲武鉄道電車運転80周年記念入場券	図版研レトロ図版博物館 仵田 朋春
段飾り雛人形 (明治10年)	青柳 郁雄
建築許可申請書ガラス購入許可付 (昭和23年)	川瀬 常治郎
個人金融通帳・慰問絵はがき・大正天皇御成婚記事	鈴木 敦子

©貴重な資料をありがとうございました。厚く御礼申し上げます。